

TPM優秀賞 セルフチェックリスト

分類	質問項目	ガイド		評価基準/点数					自己採点	
		質問	用語	0点	1点	2点	3点	4点		5点
1 【必須項目】 TPM基本要件	1-1 事業上、適用される法的要求事項を守っていますか	・適用法令は、立地している国・地域の法令に基づく ・法令に代わり、国際認証などで示すことも可能。その場合、その認証内容を概況書に記載すること		適用される法的要求事項を把握していない	一部の法的要求事項のみ順守できている（全体の50%未満の順守率）	法的要求事項はすべて把握しているが、一部の法的要求事項を満たしていない項目がある（全体の50%以上の順守率）	すべての法的要求事項を把握しており、そのすべてを順守している	すべての法的要求事項を把握し、定期的に順守評価をしている	法的要求事項の規制より厳しい基準を策定し、維持している	
	1-2 トップ方針が明確に策定されていますか？	・受審企業あるいは受審事業場のトップ方針を指す ・「方針」に示されている内容が、TPMの展開により実現されているか否かの確認が必要		トップ方針が策定されていない	策定はされているが、管理職までの周知にとどまっている	策定はされているが、社員のみで周知されている	明確に策定され、社員以外も含め、事業場で働くすべての人に周知、展開されている	事業場で働くすべての人へ、方針と目標として展開されている	展開された目標についての評価が行われ、見直すようになっている	
	1-3 TPM推進体制は確立されていますか？	・事業場で働く全員の参加を前提とした活動推進体制がある ・TPMを直接推進する業務組織を重複小集団で編成し、TPMを効果的に推進する		確立されていない	TPM推進責任者のもとで、各柱の推進体制が確立されている	TPM推進責任者と事業場の（経営）責任者が同一であり、その下に各柱の推進体制が確立されている	（2点の項目に加え）TPM推進事務局が設けられ、定期的に各柱のミーティングが行われている	構築された推進体制において、推進責任者、管理者および第一線従業員までが機能している	事業場で働いている人すべてが参加して、TPMが推進されている	
	1-4 事業場全体において、TPM推進のためのマスタープラン*は策定されていますか？	・事業場のマスタープランと各柱の推進計画の整合性が取れているか、確認が必要	・TPMの基本的な推進計画を時系列で示したものがマスタープランであり、すべての柱における活動の基準として用い、各柱の推進計画を立案する際のよりどころとなるもの	マスタープランが策定されていない	マスタープランは策定されているが、内容が具体的にない	マスタープランは策定されているが、各柱の推進計画へ展開されていない	マスタープランに基づき、各柱の推進計画へ展開されている	マスタープランに基づき各柱に展開され、それぞれに連携が取れている	マスタープランに基づき各柱の推進計画が確実に実施され、そのことが確認できるようになっている	
2 TPM推進状況	2-1 【必須項目】 何本の柱*で実施していますか？	・優秀賞は、個別改善（FI）、自主保全（AM）、計画保全（PM）、品質保全（QM）、教育訓練（ET）、安全衛生環境（SHE）の6本の柱を最低限の要件とし、初期管理（EM）および事務間接（OI）は、事業場としてその機能を持たない場合などは審査対象から外すことができる ・実際の活動では柱として設定していなくても、その柱の要素を持った活動であることを示すことができれば受審可能とする	・柱とは、個別改善（FI）、自主保全（AM）、計画保全（PM）、品質保全（QM）、教育訓練（ET）、安全衛生環境（SHE）、初期管理（EM）、事務間接（OI）の8本柱をいう	5Sのみ	AMのみ	FI、AM、PM	6本（FI、AM、PM、QM、ET、SHE）	8本	それ以上（8本柱に加えて、8本以外の柱も実施）	
	2-2 目標（KPI、KAI*）を設定していますか？		・活動による成果目標をKPI（Key Performanve Indicator）、活動の達成目標をKAI（Key Activity Indicator）という。 ・例） KPI：OEE、故障件数、不良率、チョコ停件数、休業災害件数等 KAI：改善件数、活動時間、不具合件数、OPL枚数、ヒヤリハット件数、改善提案件数等	設定していない	目標を設定しているが、根拠となるロス分析などは行っていない	ロスの分析などをもとに、目標（KPI、KAI）へ展開している	（2点の項目に加え）KPI、KAIの目標と実績の差に対する対策、対応を行っている	KPI、KAIの実績がコスト削減に貢献していることを確認している	（4点の項目に加え）事業場の経営目標に貢献している	
3 個別改善	3-1 ロスの把握がされていますか？	・生産効率を阻害する16大ロスを基本とする	・ロスコストマトリックスとは、ロスとコストの対比表のこと。現場のコスト構造のどこにロスがあるかを発見し、その中でも影響の大きいロスを洗い出す。	把握していない	16大ロスに基づいて当該事業場に適した定義を行っている	定義したロスに基づき、ロスの測定ができている	ロスコストマトリックス*によりロスとコストの関連を確認している	ロスコストマトリックスを用いてロスの金額換算ができている		
	3-2 改善を実施していますか？	・ロス分析に基づいてCAP-Doで改善を実施する		実施していない	適宜改善を実施している	改善を組織的に実施し、経過を記録している	ロス分析に基づき改善計画を作成・実施し、成果が出ている	改善の水平展開が行われている	ロスのゼロ化事例が複数ある	
	3-3 改善手法を用いていますか？	・審査においては、どんな手法を用いて改善したかを示すとよい		無し	パレート図、統計表、分布図・散布図などを活用している	（1点の項目に加え）4M分析、なぜなぜ分析、特性要因図などを活用している	（2点の項目に加え）段取り改善（SMED）などの実践的な手法を実践している	PM分析などの理論解析を用いた慢性ロス対策や、からくり改善などを実施している	FMEAなどのリスク回避（未然防止）のための手法・ツールを活用している	
4 自主保全	4-1 【必須項目】 自主保全活動の進捗は、JIPM標準の7ステップ*においてどこまで進んでいますか？	・受審申請時点での進捗状況 ・TPM導入時点で設定した対象設備の台数を基準とする		ステップ1を完了した	ステップ2を完了した	ステップ3を完了した	ステップ4を進行中である	対象設備の75%以上がステップ4を完了した	ステップ4を完了した	
	4-2 自主保全では、どのような活動を行っていますか？	・自主保全はステップ展開で実施すること ・各段階においてステップ診断を実施し、ステップアップを行う ・エフ付け/エフ取り、清掃（C）・点検（I）・給油（L）時間短縮、目で見える管理、点検技能教育等を実施する		不具合の発見とエフ（Fタグ）の取りつけと除去、職場の整理整頓が行われている	発生源対策および困難個所対策が行われている	清掃（C）・点検（I）・給油（L）作業の見直しと標準化が進んでいる	総点検に関する作業教育、点検スキルの評価が行われている	対象設備の75%以上において、総点検が完了済みである	設備および品質の予防保全を取り入れている	
	4-3 活動板、ワンポイントレッスン（OPL）、ミーティング*は効果的に活用されていますか？		・TPM三種の神器*といわれるもので、現場活性化ツールとして活用を奨励している	活用していない	AMサークルの一部で活用している	AMサークルのすべてで、活動板、ワンポイントレッスン、ミーティングのうち、2つを活用している	AMサークルのすべてで活動版を活用し、定期的にミーティングが有効に行われている。ワンポイントレッスンは適切に管理されている	活動板、ワンポイントレッスン、ミーティングの結果などが、他の職場と共有されている	ワンポイントレッスンや活動状況などがデータベース化され、全社活動に利用されている	

質問項目		ガイド		評価基準/点数						自己採点
分類	質問	ガイド	用語	0点	1点	2点	3点	4点	5点	
5 計画保全	5-1 故障件数や、MTBF、MTTRを把握し、改善していますか？			故障件数、設備停止時間の把握ができていない	故障件数、停止時間は日報レベルで記録され、把握されている	MTBF、MTTRなどの保全情報が管理されている。また、故障の分類がなされ、再発防止が実施されている	故障原因が特定され、改善が実施されている	故障原因の特定と改善が、関連する設備に水平展開されている	工場全体のMTBFの延長とMTTRの短縮に貢献した活動が行われている	
	5-2 保全方式を合理的に実施していますか？	・設備の重要度評価および劣化・故障の特性に基づいて保全方式(TBM、CBM、BM、CMなど)の適切な選択を実施する		事後保全で実施している	一部の設備でTBMを実施している	設備の重要度評価を実施し、重要度の高い設備へTBMを実施している	TBMが定着し、重要度の高い設備のCBMを実施している	定期保全、予知保全の実施により予防保全の定着している	設備保全体系を確立し、運用されている	
	5-3 保全の効率化に努めていますか？	・予備品管理、潤滑油管理、図面管理、工具管理、保全費管理などの実施 ・点検・処置作業の効率化、点検間隔の延長		行っていない	予備品、潤滑油などの3Sを実施している	計画保全の取り組みとして担当者を決めて実施している	予備品、潤滑油、図面、工具の管理の仕組みを構築し、実施している	保全員の教育訓練を実施し、保全費を管理している	保全管理を体系化している(仕組みとして確立できている)	
6 品質保全	6-1 不良の発生を認識していますか？(不良発生防止をどのように行っていますか？)			行っていない	流出不良と工程内不良をデータとして把握している	不良を現象ごとに分類し、対策している	不良防止の作業条件を設け、維持している	不良を再発させない設備改良を実施している	4点の項目以上の活動を実施している	
	6-2 発生した個別の不良をどのように対策していますか？			行っていない	不良発生後に応急対策を実施している	不良原因の追究と原因除去をしている	不良原因の真因を追求し、再発防止をしている	再発防止のための標準を改訂し、教育を実施している	不良ゼロに向け、安定的に維持している	
	6-3 良品生産の管理をしていますか？	・QAマトリクスとは、品質不良モードと生産プロセスとの関係をマトリクス状で示したもの ・QMマトリクスとは、生産プロセスごとに良品を保証するための3M条件をマトリクス状で示したもの ・Qコンポーネントは、良品条件として重要な管理対象であることをオペレーターが現地・現物で確認するために表示するもの ・QコンポーネントをQポイントと称する場合もある		管理していない	品質基準を設定している	不良モードと生産プロセスとの関係を明確するために、QAマトリクス*を用いている	良品条件を維持するためにQMマトリクス*を用いている	良品条件を日常的に管理するためにQコンポーネント*の設定を行っている	4点の項目以上の活動を実施している	
7 教育訓練	7-1 作業者の教育研修制度がありますか？			新人研修のみ実施している	安全教育、技能教育を実施している	OPLや実務経験を活かした教材(保全道場)による技能教育を実施している	設備の原理など、技術教育を実施している	改善手法などに関する教育を実施している	からくり機構など、改善スキルに関する教育を実施している	
	7-2 能力(スキル)向上の取り組みをしていますか？	・スキルマトリクスとは、必要な知識・技術を分類し、それぞれについて各個人の能力を段階で評価したものをマトリクスで示したもの。		行っていない	技能伝承をOJTで行っている	スキルマトリクス*でスキルの見える化を行っている	スキルマトリクスに基づき教育が行われている	多能工化が行われている、あるいは社内資格制度がある	公的資格の取得推奨制度、あるいは資格顕彰制度がある	
	7-3 自己啓発環境が整備されていますか？	・自己啓発環境の整備では、一般的に、図書の整備、通信教育、Eラーニングなどの支援、あるいは教育の物理的な空間として道場などの設置がある		行っていない	自己啓発環境の整備に取り掛かっている	一部については図書・教材が整備されている	TPMを推進するために必要な図書・教材が十分に整備されている	(3点の項目に加え)通信教育、Eラーニング等を受講する環境が整備されている	4点の項目以上の環境整備を実施している	
8 安全・衛生・環境	8-1 安全・衛生の管理をしていますか？			法的基準を満たしている	発生した労働災害の対策が行われている	ヒヤリハットや不安全指摘箇所の対策が行われている	リスク分析などによる事故・労災予防対策が行われている	騒音など職場環境の改善が行われている	4点の項目以上の活動を実施している	
	8-2 安全対策を実施していますか？			安全パトロールや不安全箇所の指摘制度がある	安全教育を実施している	安全柵や安全カバー、安全表示などの防護対策が行われている	不安全箇所の除去(ボカヨケ、フェイルセーフなど)を実施している	定常作業以外の作業場所の不安全箇所の除去を実施している	4点の項目以上の活動を実施している	
	8-3 環境の管理をしていますか？			法的基準を満たしている	廃棄物などの削減を行っている	3R(Reduce, Reuse, Recycle)を実施している	エネルギーロスなどのデータに基づく省エネ、省資源を実施している	エネルギーロスの日常管理が実施されている	自主目標を設定し、達成に向けた管理が行われている	

質問項目		ガイド		評価基準/点数						自己採点
分類	質問	ガイド	用語	0点	1点	2点	3点	4点	5点	
9 初期管理 *審査において 必須の要件と はしない	9-1 設備の導入体制がありますか？	・優秀賞の初期管理においては「製品の初期管理」を必須の活動とはしない。ただし、「製品の初期管理」活動をしている場合は発表事項に含めることで、加点対象とする（基準に達していなくても減点材料としない）。その場合、9-1～9-3の質問、評価項目の「設備」を「製品」に置き換える。		ほとんど考慮していない（設備導入に関しては本社主導であり、工場として関与していない）	工場として設備導入を担当しているが、仕様検討には関与していない	安全、操作、保全などの情報をMP情報として設備仕様のために提供している	設備設計期間に、デザインレビューなどによって工場としての要件を反映することができる	製品設計期間に、良品条件を維持する仕組みを考慮している	4点の項目以上の活動を実施している	
	9-2 設備の初期管理の仕組みが確立され、目標は明確に設定されていますか？	・設備の初期管理においては、TPMとしての取組みを求めている。つまり、保全予防（MP）の考えが設備に反映させた取組みが具体的に実施されていること。	・ KPI : Key Performance Indicator ・ KAI : Key Activity Indicator	設備導入時に仕様、運転などに関与できない、あるいはしていない	予算達成のみを目標としている	KPIとして、「開発期間の短縮」と「垂直立ち上げ」に目標値を設定している	開発期間管理が適切に行われ、目標を達成している。あるいは、立ち上げ以前に不具合を摘出し、垂直立ち上げを達成している	新製品設計時の工程設計、設備設計において設備の初期管理の仕組みを用いている	新設備開発時に環境への影響を考慮した評価を実施し、実現している	
	9-3 設備の導入に際し、MP設計を考慮していますか？		MP設計：保全予防設計のこと。過去の経験や適用可能な新技術などを、MP情報として集積し、新設備の設計に活かした設計を行うこと	ほとんど考慮していない（設備導入に関しては本社主導であり、工場として関与していない）	故障、安全、操作、保全などの過去の情報は収集しているが、MP情報として認識していない	収集した情報をMP情報として活用する仕組みが確立されているが、新設備に適用されていない	MP情報を活用してMP設計を実施している。また、デザインレビュー時のチェックリストに反映している	MP設計を施した設備について、導入後の有効性、妥当性を現場にて評価している	4点の項目以上の活動を実施している（MP設計をもとに品質保証、環境、設置面積などを考慮した設備設計）	
10 管理・間接 *審査において 必須の要件と はしない	10-1 管理・間接部門のロスは明確にされ、改善の成果は出ていますか？			ロスが明確になっていない	ロスは認識しているが、改善活動は行っていない	ロスを定義し、指標を設定している	ロスに対し、改善テーマを取り上げ、業務改善活動につなげている	サプライチェーンを考慮した新たな管理・間接部門のロスの対策を行っている	管理・間接部門の組織的な改革を行っている（DXなど）	
	10-2 業務の効率化は進んでいますか？	・自部門の効率化のための課題と、部門横断で解決すべき課題が分別されることが望ましい。（管理・間接部門の“自主保全”と“個別改善”）		特に何もしていない	職場環境の3S（整理、整頓、清掃）の活動を行っている	業務効率化に向けた書類ファイル、備品、デジタルデータの管理が適切に行われている	業務効率化に有効なツールを使い、業務時間の短縮、業務のリードタイムの短縮などの成果を出している	サプライヤーも含めた業務改善に着手して成果につなげている	間接業務の改革が行われている実績がある（DXなど）	
	10-3 スタッフの業務遂行能力を向上させる取り組みはしていますか？	・業務遂行に必要な知識、能力は何かを明確にしておくことが必要		教育の計画がなく、場当たり的に実施している	必要なスキル項目を抽出している	OJT及びOff-JTにより計画的に教育を実施している	目標とするスキルに到達させるため、スキル評価を活用している	マルチスキル化、作業の標準化などによって、間接業務の効率化が行われている	間接業務の効率化につながる改革が行われている	

参考（受審可否判断対象外）

分類	質問	ガイド	用語	0点	1点	2点	3点	4点	5点	自己採点
【受審可否 判断対象外】 TPMの成果	休業災害は減少していますか？		BMとは、ベンチマークのこと。優秀賞においては活動開始時点とすることが多い。	直近1年間で6件/年以上発生している、または変化していない	直近1年間で3件/年以上発生している、またはBM比10%程度減少	直近1年間で2件/年未満発生している、またはBM比30%程度減少	直近1年間で1件/年発生している、またはBM比半分に減少	直近1年間はゼロを達成	直近2年間はゼロを達成	
	生産性は向上していますか？	・評価指標例（OEE、OLE、OPEほか）		向上していない、または悪化している	BM比5%程度上昇している	BM比10%程度上昇している	BM比15%程度上昇している、またはOEE75%以上を達成している	BM比15%以上上昇している、またはOEE85%以上を達成している	4点の項目以上の成果をあげている	
	故障件数は減少しましたか？			減少していない、または増加している	BM比10%程度減少している	BM比30%程度減少している	BM比半分に減少している	BM比20%(1/5)以下に減少している	BM比10%(1/10)以下に減少している	
	不良件数は減少しましたか？			減少していない、または増加している	BM比10%程度減少している	BM比20%程度減少している	BM比30%程度減少している	BM比半分に減少している	4点の項目以下に減少している	
	改善提案件数は増加していますか？	・改善提案は、TPM活動に限定せず、提案そのものを推奨、尊重する ・実施したものを含めて、改善提案件数とする	・改善提案件数には以下を含む -16大ロスに関する提案 -発生源対策に関わる提案 -エフ付け（不具合）レベルの提案 -安全および環境に関わる提案	0件/人・月	1件未満/人・月	1～2件/人・月	2～3件/人・月	3～5件/人・月	5件/人・月以上	